

令和4年度 第3回 名古屋市環境影響評価審査会  
会議録

1 開催日時

令和4年11月17日（木）午後2時～午後3時45分

2 開催場所

市役所大会議室（東庁舎5階）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、審査会委員はWEB会議システムにより参加

3 出席者

(1) 審査委員（五十音順、敬称略）

|    |     |               |
|----|-----|---------------|
| 青木 | 聡子  | （名古屋大学准教授）    |
| 石井 | 仁   | （名城大学教授）      |
| 市野 | 良一  | （名古屋大学教授）     |
| 岡村 | 聖   | （名古屋産業大学教授）   |
| 香川 | 雅子  | （愛知学院大学非常勤講師） |
| 片山 | 直美  | （名古屋女子大学教授）   |
| 佐野 | 泰之  | （愛知工業大学教授）    |
| 都竹 | 愛一郎 | （名城大学教授）      |
| 西田 | 佐知子 | （名城大学准教授）     |
| 西野 | 隆典  | （名城大学教授）      |
| 洞澤 | 秀雄  | （南山大学教授）      |
| 増田 | 理子  | （名古屋工業大学教授）   |
| 横田 | 久里子 | （豊橋技術科学大学准教授） |

計13名

(2) 事務局 地域環境対策部長始め5名

(3) 傍聴者 1名

4 議事及び意見等の要旨

事務局より、今回の審査会の出席者が13名であり、審査会が成立していることを確認した。また、本日のスケジュールについて簡単に説明した。

[事務局] 大江川の準備書のアセス手続きの状況ですが、9月6日から10月5日まで、準備書に対する市民意見の提出を受け付けておりました。その結果、2件の提出がございました。

本日は、第2回審査会での質問と回答を最初に説明させていただきます。その後に、環境項目のうち、騒音、振動、安全性、廃棄物等、温室効果ガス等についてご審議いただきたいと存じます。

それでは、以降の取り回しは、市野会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

議題 大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価準備書について

[会長] それでは、本日の議題「大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価準備書について」の審議に入りたいと思います。

まずは、資料「令和４年度第２回審査会での質問と回答」について、事務局から説明をお願いします。

〔事務局〕 （資料について説明）

〔会 長〕 ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問、コメント等ありますか。

他に何かご質問等ございましたら、その時にメールなり、挙手なりで、よろしく願いいたします。

続きまして、環境項目についての審議に入りたいと思います。

騒音、振動についてですが、それぞれ建設機械の稼働、それから工事関係車両の走行による影響を予測評価しております。そのため、建設機械の稼働として、騒音と振動を、工事関係車両の走行として、騒音と振動をご説明いただいた方がわかりやすいかと思っておりますので、まず初めに、建設機械の稼働として騒音及び振動の説明をお願いいたします。

〔事務局〕 （建設機械の騒音、振動について説明）

〔会 長〕 ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

〔委 員〕 振動について、規制基準は超えておりませんが、高めの数値になっています。さらに、建物で増幅することを考えると、家の中では揺れを感じるレベルになるのではと思われる。

発生源を見ますと、バイブロハンマを使用する際に影響が出ているかと思えます。住宅地の近くで使用する際には、工事期間などについて事前に住民の方に周知していただき、苦情が発生しないよう、しっかりとコミュニケーションをとっていただきたいと思います。

〔事務局〕 事業者には伝えさせていただきます。

10年という長い工事期間になりますので、周辺住民や事業場などと、しっかりと意見交換しながら、苦情が出ないような丁寧な施工に努めていただきたいと思います。

〔委 員〕 同じ振動の話ですが、事業予定地は河口付近のため地盤がゆるいかと思えます。このような状況ですと、規制基準は下回っていても、相当揺れる可能性はあるかと思えます。そのため工事前には、「これ位の振動が発生します」「このような機械を稼働させます」といった丁寧な説明や、影響が起きた場合にはすぐに対応できるよう体制を取っていただきたいと思います。

〔事務局〕 事業予定地周辺の方々に対し丁寧に説明し理解を得ること、またご意見があった際にすぐに対応できる連絡体制は、工事を進めていくうえで非常に重要かと思っておりますので、その旨事業者には伝えさせていただきます。

〔委 員〕 これまでのご意見と重複する部分もありますが、主に振動についてです。

70dB超ですと体感できる揺れであると思えますし、家屋の中ではおそらく増幅しますので考慮に入れる必要があるのではないかと思います。

また、かなり長期間に振動が続くということで、他の事例では、極端な話ですと建物がゆがんでしまったりするといったこともありますので、これらを考慮に入れていただけるといいかと思います。

〔事務局〕 今回の予測結果は全ての建設機械が同時に稼働した数値となっています。しかし、実際の工事の際にも同程度の数値になる可能性はありますので、丁寧な作業に心掛けていただくといった配慮は必要かと思っております。

また、今後「地盤」の項目をご審議いただきますが、その環境保全措置の中で「工事施工時には近接構造物等に対する影響等を動体観測によって確認する」とありますので、周辺の家屋に対してもしっかりと確認をしながら工事を進めていただきたいと思います。

振動について様々ご意見をいただきましたので、事業者に伝えさせていただきます。

[会 長] 騒音の予測は工事着工後 49 ヶ月目で、振動は 50 ヶ月と少しずれておりますが、何か違いがあるのでしょうか。建設機械の音源・振源のレベルの違いが原因かと考えておりますが、どのような理由によるもののでしょうか。

[事務局] 資料編 9 ページに各月に稼働する建設機械の合成騒音レベル及び合成振動レベルが示されており、これを基に予測時期を設定しております。騒音は 49 ヶ月目、振動は 50 ヶ月目がピークとなっていることから、予測時期が少しずれております。

[会 長] 騒音について、工事は主に河川の中で行われますので、堤防が遮音壁代わりになるかと思えます。しかし埋立てが進んでいくと遮音壁代わりとなっていた堤防と同程度の高さで建設機械が稼働することになり、音が周辺に直接届いてしまう恐れがあるかと思えます。

工事地盤面 1.5m の高さに建設機械の音源を置き予測しているとの説明でしたが、河底であればそれほど問題ないかと思えます。埋立てが進んだ際にはどのようにイメージすればよいのでしょうか。

[事務局] ご指摘のとおり、堤防が遮音壁代わりとなり、騒音の低減効果が発生しています。しかし、埋立てが進んでいくと建設機械が堤防と同程度の高さとなります。資料編 86 ページに現在予測している工事着工後 49 ヶ月目の河川断面が記載されており、下流側は埋立てが進んで堤防と同程度の高さで建設機械が稼働しておりますが、上流側では河床の底の方で建設機械が稼働しております。しかし、住居のある上流側でも埋立てが進んでいくと、堤防と同程度の高さで建設機械が稼働し、堤防が遮音壁代わりにならず、音が直接届く状況が発生することになります。

上流側において、建設機械が堤防と同程度の高さで稼働した際の騒音レベルは、本準備書では触れられておりませんので、どの程度の数値になるかについては、事業者を確認したいと思います。

[会 長] 他にありませんでしょうか。

続いて、工事関係車両の騒音及び振動について、事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] (工事関係車両の騒音、振動について説明)

[会 長] ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

[委 員] 交通振動の予測結果は  $L_{10}$  の数値であり、最大値では  $L_{10}$  の数値 + 10 ~ 20dB になるかと思えます。更に家屋による増幅を考慮すると、工事関係車両が走行することで、これまで気にならなかった振動を感じるようになる可能性があります。建設機械稼働による振動と同様、苦情が寄せられることが考えられますので、しっかり対応していただきたいと思います。

[事務局] 工事関係車両走行ルート 4 上にある No. 4 地点での予測では、工事関係車両の走行に伴い振動が 7dB 増加する予測結果となっております。この数値はこれまでの環境影響評価案件と比較すると、高い数値となっております。

工事説明を丁寧に行うなど、意思疎通をしっかりと図ることで抑えることができる苦情もあるかと思しますので、事業者に対しご意見あったことを伝えさせていただきます。

[委 員] 工事関係車両の走行ルート4ですが、大同大学前を通るという理解でよろしいでしょうか。

[事務局] その通りです。

[委 員] そうしますと、工事関係車両の走行による騒音・振動が学校の授業へ影響を与えることも考えられますし、学生の通学時間に重なってしまうと、信号や横断歩道近辺での工事関係車両の停車・発進も多くなるかと思えます。

そのため、予測地点 No. 4 よりも南側の大学近辺での予測結果についても、資料編などで触れる必要があるのではと感じました。

また、この南北道路の区間で工事関係車両による影響が長期間続くことや工事関係車両がこの区間で待機しないことも重要かと思えます。

[事務局] 予測地点 No. 4 は、事業予定地に近い住居近辺での断面で行っております。また、ルート4は、小学校の通学路でもあり、地元の方から工事関係車両の走行についてご意見をいただいている箇所にもなります。

ご意見いただきました大学近くでの騒音・振動の状況については事業者を確認させていただきます。

また、事業予定地への進入待ちでルート上に待機しないことも重要なことではありますので、ご意見あったことを事業者に伝えさせていただきます。

[会 長] 工事関係車両の走行ルート2は幹線道路ですが、ルート4は住宅地の近辺を通るということで、走行速度の現地調査結果もルート4は低くなっていたかと思えます。

ルート4について、大型車両に重量物を積んだ状態で早く走れる構造なのか、また、ルート上に信号機等があった場合、そこでの停車・発進による騒音などの影響が心配になりましたが、どのような状況でしょうか。

[事務局] ルート4の道路構造は資料編71ページに記載されており、片道1車線、その両側に歩道となっており、片道1車線のため、あまり速度は出せないのではないかと思います。

信号等の設置状況については、準備書307ページをご覧ください。事業予定周辺の交通安全施設の現地調査結果が記載されており、黄色のマークが信号、黄緑色の四角が横断歩道を表しております。

ルート4は信号左折後北上するルートですが、左折後から事業予定地までの間に信号が1基設置されており、信号以外にもいくつか横断歩道が設置されております。

昨今、歩行者が待っている横断歩道で止まらない車というのがよく報道されているかと思いますが、ルート4については、小学生から大学生までがよく使用する道路とのことですので、しっかりと交通法規を順守し、安全運転に努めることが非常に重要かと思えます。事業者にはこれらについて伝えさせていただきたいと思えます。

[会 長] 荷物を積んだ状態での急加速急減速による騒音というのは考慮する必要があるかと思えますので、走行速度についても配慮するよう伝えていただければと思います。

[会 長] 続きまして、安全性について事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] (安全性について説明)

[会 長] ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

[会 長] 準備書304ページで、歩行者30人、自転車99台が通過したとの調査結果ですが、これは多い人数・台数なのでしょうか。

[事務局] 市内中心部での開発、名古屋駅前や伏見駅付近での環境影響評価対象事業では、もっと多くの歩行者、自転車が通行していたとの調査結果でした。しかし、工事関係車両と交錯することには変わりはありませんので、運転者に対する交通安全への指導徹底や、誘導員の配置などを行い、事故が起きないように努めていただきたいと考えております。

[会 長] 環境の保全のための措置に「視認性」といった単語があったかと思いますが、どのような意味合いなのでしょう。

[事務局] 準備書 316 ページの環境保全のための措置に「工事関係車両の出入口付近では、視認性を良好に保ち、交通誘導員を配置することにより、工事関係車両の徐行及び一時停止を徹底させる」とあります。街路樹等により、出入口付近の見通しが悪くなり、歩行者などに気付きにくくなってしまう状況を避けるため、見通しをよくしておくといったことかと思います。

[会 長] 続きまして、廃棄物等について事務局より説明をお願いいたします

[事務局] (廃棄物等について説明)

[会 長] ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

[会 長] アスファルトマットについて、再資源化できないと言われてしまうと、なかなか意見も言いづらいかと思いますが、工事を進めていく中で可能な限り再資源化できるよう、検討を進めていただきたいと思います。

[事務局] 事業者を確認したところ、現状のアスファルトマットについて、その性状を元に数社のリサイクル業者に確認したところ、再資源化は不可能という回答があったため、本準備書では再資源化率 0%と設定しているとのことです。

しかし、準備書 318 ページの環境保全のための措置に「最新のリサイクル技術の情報収集に努め、可能な限り再資源化を図る」とありますので、今後検討を進めていただきながら、廃棄物発生量をできるだけ少なくしていただきたいと思いますので、ご意見あったことを事業者に伝えさせていただきます。

[会 長] 続きまして、温室効果ガス等について事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] (温室効果ガス等について説明)

[会 長] ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

特にないようですので、温室効果ガス等についてはこれで終わりたいと思います。

本日ご審議いただいた、騒音、振動、安全性、廃棄物等及び温室効果ガス等について、また、前回の大気質及び悪臭につきましても、気付いた点等ありましたら、事務局までメール等ご連絡いただければと思います。

それでは、本日予定されていた議題は以上となりますが、事務局から何かございますか。

[事務局] 本日はありがとうございました。次回の審査会ですが、12 月 13 日火曜日、午前 10 時から、また Web で開催を予定しております。

内容は、大江川準備書について、水質・底質、地下水、水循環についてご審議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

[会 長] それでは、これをもちまして本日の審査会を終了したいと思います。

皆さんどうも、ありがとうございました。